

2025年度

京都産業大学大学院
学生募集要項

修士課程

経済学研究科

京都文化学研究科

(通信教育課程)

京都産業大学

京都産業大学大学院のアドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

【経済学研究科】

建学の精神に基づく本課程のディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）が求める要件を、2年間の教育課程での学修を通じて身に付けることができると期待される、次のような素養をもつ入学生を求めます。

1. 社会人として、実社会の経済的課題について高度の判断力と実践力を身に付けるという明確な目標をもっていること
2. 社会人として実際に直面する経済的課題に強い関心を有していること
3. 大学院で学ぶための基礎的な能力を有していること

入学者選抜では、上記学生を念頭に置きつつ、書類審査による第1次選考および面接による第2次選考が課されます。

【京都文化学研究科】

建学の精神に基づく本研究科のディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）が求める要件を、2年間の教育課程での学修を通じて身に付けることができると期待される、以下のような素養を持つ入学生を求めます。

1. 日本語の十分な文章読解・表現能力を持っている
2. 京都文化・日本文化に関する分野及び関連領域において基礎的な知識を持っている
3. 日本文化・京都文化を研究することに強い意欲を持っている
4. 社会人においては、研究の遂行に役立つような知識や経験を持っている

目 次

I 入試概要	
1. 募集研究科及び入学定員	1
2. 出願資格	1
3. 出願期間	2
4. 出願先	2
5. 出願書類	3
6. 入学検定料	3
7. 試験場	4
8. 出願上の注意事項	4
9. 選考方法	5
10. 1次選考結果通知	5
11. 受験票	5
12. 試験日時（2次選考）	5
13. 合否結果通知	5
14. 入学手続	5
15. 入学金・学費等	6
16. 個人情報取り扱いの基本方針	6
II 教員の紹介	
1. 研究指導教員、領域科目の紹介	7
2. 入学から修了までのスケジュール（参考）	9
III 特色ある制度	
1. 長期履修制度	11
2. 教育研究支援制度	11
IV 日本学生支援機構奨学金	12

< 出願書類（本学指定様式） >

本学 Web サイトよりダウンロードしてください。

HOME > 学部・大学院 > 大学院 > 大学院入試

I. 入試概要

1. 募集研究科及び入学定員

研究科	専攻	入学定員
経済学研究科（通信教育課程）	経済学専攻	10名
京都文化学研究科（通信教育課程）	京都文化学専攻	10名

- (1) 研究指導教員ごとに、以下の通り募集します。
経済学研究科：原則として1名を募集します。
京都文化学研究科：原則、2名を上限として募集します。
- (2) 志望調査票には、研究指導について領域科目名・研究指導教員名（第1志望）を必ず明記してください。
- (3) この研究指導は第2志望まで記入できます。第1志望で不合格の場合でも、第2志望で合格することがあります。

2. 出願資格

【経済学研究科】

次のいずれかに該当し、入学時まで企業、官公庁、教育・研究機関等において2年以上の勤務経験を有する者とします。

- ① 大学を卒業した者又は2025年3月までに卒業見込みの者
 - ② 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は2025年3月までに卒業見込みの者
 - ③ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者又は2025年3月までに修了見込みの者
 - ④ 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年3月31日までに24歳に達する者
- ※上記④により出願しようとする者は、事前に資格審査を行います。

【京都文化学研究科】

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- ① 大学を卒業した者又は2025年3月までに卒業見込みの者
- ② 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者又は2025年3月までに授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は2025年3月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は2025年3月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の

課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は2025年3月までに修了見込みの者

- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者又は2025年3月までに修了見込みの者
 - ⑦ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は2025年3月までに修了見込みの者
 - ⑧ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑨ 2025年3月で、大学の在学期間が3年以上となる者又は外国において学校教育における15年の課程を修了する者で、かつ、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本大学院が認めた者
 - ⑩ 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年3月31日までに22歳に達する者
- ※⑦、⑨又は⑩により出願しようとする者は、事前に資格審査を行います。

※事前資格審査は、次の期日までに必ず本学教学センター大学院担当に申請してください。資格審査は、以下の出願書類をもとに行います。

【事前資格審査期限】 2024年12月17日(火)【必着】

【申請書類】 <経済学研究科>

出願書類一式

※「(1)志願票」については取扱銀行収納印がない状態でご用意ください

<京都文化学研究科>

**最終出身学校の卒業(見込)証明書又は修了(見込)証明書、
履歴書、事前資格審査申請書の3点**

3. 出願期間

2024年12月24日(火)～2025年1月8日(水) (期限当日の消印有効)

4. 出願先

京都産業大学 教学センター大学院担当(10号館1階)

〒603-8555 京都市北区上賀茂本山 TEL (075) 705-1913

出願書類を本学所定の出願用封筒に入れて提出してください。

郵送の場合は、必ず簡易書留速達便で送付してください(当日消印有効)。

窓口提出による出願受付は、次のとおりです。

窓口受付時間：平日・・・午前9時～午後4時まで(午後1時～午後2時を除く。)

※土曜、日曜及び祝日は窓口受付を行いません。

5. 出願書類

- (1) 志願票（本学所定用紙）
- (2) 最終出身学校の成績証明書（厳封したもの）
- (3) 最終出身学校の卒業（見込）証明書又は修了（見込）証明書
ア. 中国の大学又は大学院を卒業（修了）した者にあつては、出身大学の卒業証明書又は修了証明書の他に、中国教育部のホームページへ登録し、「教育部學歷證書電子注冊備案表」のPDFファイルを手後、A4用紙に印刷したものを併せて提出してください。＜中国教育部のホームページ： <https://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp>>
イ. 中国の大学又は大学院に在学中の者にあつては、在学中の卒業見込証明書又は修了見込証明書の他に、中国教育部のホームページへ登録し、「教育部学籍在線驗證報告」のPDFファイルを手後、A4用紙に印刷したものを併せて提出してください。
ウ. 卒業（修了）見込証明書を提出した者は、入学時までに卒業（修了）証明書の提出を求めます。
- (4) 大学改革支援・学位授与機構から学位を授与された者は、学位記の写し又は学位授与証明書。学位授与申請中の者は、学位授与申請受理証明書（京都文化科学研究科のみ該当）（学位授与申請受理証明書を提出した者は、入学時までに学位授与証明書を提出してください。）
- (5) 志望調査票（本学所定用紙）
- (6) 履歴書（本学所定用紙）
- (7) 志望理由書（本学所定用紙）
- (8) 活動実績報告書（本学所定用紙）（参考資料があれば添付してください。）
※京都文化科学研究科は任意提出とする。
- (9) 取り組みたい課題（本学所定用紙：第1志望用は必須、第2志望用は希望者のみ提出のこと）（経済学研究科のみ提出）
- (10) 研究計画書（本学所定用紙：第1志望用は必須、第2志望用は希望者のみ提出のこと）（京都文化科学研究科のみ提出）
- (11) 事前資格審査申請書
（京都文化科学研究科のみ、出願資格⑦、⑨又は⑩により事前資格審査を申請する者のみ提出）
- (12) 書類送付先住所届（本学所定用紙）
- (13) 在留カードの写し及びパスポートの写し（外国人の方のみ提出）
在留カード（表・裏）の写し及びパスポート（氏名・顔写真の部分）の写しを提出してください。
日本に在留していない外国人の方は、パスポート（氏名・顔写真の部分）の写しのみを提出してください。

6. 入学検定料

- | | |
|---------------|----------|
| 1次選考（書類審査） | 15,000 円 |
| 2次選考（面接・口述試験） | 20,000 円 |
- (1) 振込期間は、次のとおりです。（期限当日の収納印有効・期間外取扱不可）
1次選考 2024年12月24日（火）～2025年 1月8日（水）
2次選考 2025年 1月21日（火）～1月28日（火）

- (2) 1次選考の振込依頼書は、志願票と一枚綴りになっていますので必要事項を記入のうえ、切り離さずに金融機関（ゆうちょ銀行を除く。）の窓口を持参してください。その際、**振込依頼書(E)の赤枠部分を打電**するように窓口で依頼してください。
なお、2次選考の振込依頼書は、1次選考合格者に対して別途送付します。
- (3) 振込依頼書に記載されている銀行の本・支店から振込む場合は、手数料が不要です。その他の金融機関から振込む場合は、手数料が必要となります。
- (4) **ATM（現金自動預け払い機）は、使用しないでください。**
- (5) 振込み後、振込依頼書以外を受け取り、**志願票・領収書に金融機関の収納印があることを必ず確認してください。**（収納印のないものは無効となります。）
- (6) 入学検定料の領収書は、本人が保管してください。
- (7) 一旦納入された入学検定料は、理由の如何にかかわらず返還しません。

【海外から送金の場合】

海外から送金する場合は、日本の銀行の手数料（銀行で確認してください。）を加算して、日本円で下記の口座に送金してください。不足があれば受理できません。送金小切手は取り扱いません。

振込期間は、次のとおりです。（**期限当日の収納印有効・期間外取扱不可**）

1次選考 2024年12月24日（火）～2025年 1月 6日（月）

2次選考 2025年 1月21日（火）～1月24日（金）

振込先銀行・支店： SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION. KYOTO BRANCH

SWIFT code/BIC code： SMBCJPJT（8桁）/ SMBCJPJTXXX（11桁）

振込先銀行住所： 8, Naginatabokocho, Shimogyo-ku, Kyoto 600-8008, JAPAN

口座番号： ACCOUNT NO. 9827085

口座名義： KYOTO SANGYO UNIVERSITY

大学住所・電話番号： Motoyama, Kamigamo, Kita-ku, Kyoto 603-8555, JAPAN

(TEL. +81-75-705-1415)

7. 試験場

京都産業大学（京都市北区上賀茂本山）

8. 出願上の注意事項

- (1) 志願票の記入にあたっては、「志願票」の記入上の注意を参照しながら、黒ボールペンを用い、正確・明瞭に記入してください。（※印欄には記入しないでください。）
- (2) 出願書類に記入する氏名及び生年月日等は、住民票と一致させてください。
- (3) 出願後の書類の変更は認めません。
- (4) 出願書類及び入学手続書類に虚偽の記載があった場合には、入学を取り消します。

9. 選考方法

- 1次選考 提出された出願書類にもとづいて書類審査を行います。
2次選考 1次選考の合格者を対象に、口述試験を行い、最終の合否を決定します。

10. 1次選考結果通知（発送日）

2025年 1月20日（月）

【2次選考検定料納入期限：2025年 1月28日（火）】

1次選考の結果は、上記の日に本人宛に郵送で通知します。1次選考の合格者には2次選考の入学検定料振込依頼書を同封しますので、3ページの「6. 入学検定料」の要領に従って、所定の期日までに入学検定料20,000円を納入してください。（この手続が完了しない場合は、2次選考の受験資格を失います。）

11. 受験票

2次選考の入学検定料納入者に受験票を郵送します。試験日の3日前までに受験票が届かない場合は、教学センター（大学院担当）に連絡してください。

12. 試験日時（2次選考）

2025年 2月15日（土）

研究科	専攻	口述試験
経済学研究科（通信教育課程）	経済学専攻	面接時間は受験票参照
京都文化科学研究科（通信教育課程）	京都文化学専攻	

（注） 受験者は、試験開始20分前までに所定の場所に集合してください。試験開始後30分以上遅刻した者は受験を許可しません。

13. 合否結果通知（発送日）

合否結果は、**2025年 2月27日（木）**に本人宛に郵送で通知します。

14. 入学手続

合格者には合格通知書及び入学手続書類を送付しますので書類に従い、次の入学手続を完了してください。所定の期日までに入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとして入学を許可しません。

2025年 2月28日（金）～ 3月12日（水）（期限当日の収納印及び消印有効）

入学金・学費等納入後、やむを得ない事情により入学を辞退する場合は2025年 3月31日までに所定の手続を行ってください。期限内に入学辞退の手続及び学費返還の請求が行われた場合に限り、入学金を除く学費等を返還します。詳しくは、合格者に送付する「入学のご案内」を参照してください。

15. 入学金・学費等

下表は、2025年度入学者の学費一覧です。

【修士課程】

(単位：円)

研究科	年次	学期	入学金	授業料	実験実習費	教育充実費	計	
経済学研究科 (通信教育課程) 京都文化学研究科 (通信教育課程)	1年次	春学期 (入学手続時)	100,000	132,000	—	40,500	272,500	
		秋学期	—	132,000	—	40,500	172,500	
	2年次	春学期	—	132,000	—	40,500	172,500	
		秋学期	—	132,000	—	40,500	172,500	
	計			100,000	528,000	—	162,000	790,000

- (1) 入学金は、入学年度のみ徴収します。ただし、本学卒業生（卒業見込者を含む）または本学に3年以上在学し引き続いて本大学院に入学を許可された者の入学金は50,000円とします。
- (2) 特殊な実験・実習については、上記のほか、別に定めるところにより、更に必要実費を徴収することがあります。
- (3) 学費等は、春学期分（4月）・秋学期分（10月）の2期に分割して徴収します。

16. 個人情報取り扱いの基本方針

以下の「京都産業大学の個人情報の取り扱い」を必ずお読みいただき、内容を確認・同意のうえ、出願してください。出願後は、以下の内容に同意いただいたものとします。

《京都産業大学の個人情報の取り扱い》

本学では、住所、氏名、電話番号などの個人情報は、本法人のプライバシーポリシーに基づいて厳重に管理します。

これらの個人情報は、入学者の選抜及び受験票、合否結果通知、合格者・入学手続者への各種案内、本学が行う受験に関するアンケートの発送に利用します。また、統計資料の作成のため、個人を特定しない形で利用することがあります。

〈個人情報に関するお問い合わせ先〉

京都産業大学 総務部（総務担当） TEL. 075-705-1408

II. 教員の紹介

1. 研究指導教員、領域科目の紹介

- ・担当教員を変更することがあります。出願にあたっては、本学の Web サイトで必ず確認するか、
教学センター大学院担当へ問い合わせてください。
- ・経済学研究科は、税理士試験の一部科目免除に該当する研究指導は行いません。

■ 経済学研究科 経済学専攻

職 階	教 員 名	領域科目名	研究テーマ
教 授	(注) 小田 秀典	ミクロ経済学	成長分配理論、実験経済学、実験哲学、計算可能性
教 授	北村 紘	産業組織論	市場成長の動学分析、垂直的取引制限の経済理論分析
教 授	加茂 知幸	ミクロ経済学	一般均衡理論、数理経済学
教 授	大西 辰彦	中小企業論	地域産業が抱える諸問題について、中小企業論の視点から研究
教 授	山内 太	日本経済史	日本における近世・近代村落社会経済史
教 授	塩津 ゆりか	日本経済論	人口減少社会での社会保障・地域公共財の多様な担い手育成と経済成長
教 授	寺井 晃	経済政策論	マクロ経済学と日本経済、物価・期待インフレ率研究
教 授	武田 史郎	環境経済学	排出量取引制度等の地球温暖化対策の分析、応用一般均衡分析
教 授	寺崎 友芳	都市経済学	都市構造分析、地域経済分析
教 授	広田 茂	地域経済学	地域経済学、健康と社会経済因子の研究
教 授	倉本 宜史	地域経済学 交通経済学	まちづくり・地域政策に関する実態把握と実証分析
教 授	西村 佳子	金融論	金融教育と家計の資産選択行動
教 授	坂井 功治	金融論	企業金融、金融機関、金融市場に関する実証研究
教 授	飯田 善郎	公共経済学	公共財の自発的供給問題についての理論および実験研究
教 授	八塩 裕之	財政学・租税論	税・財政が経済に及ぼす影響に関する実態分析
教 授	福井 唯嗣	社会保障論	個人属性の異質性とその変化を前提とした公共政策のあり方
教 授	菅原 宏太	地方財政論	地方分権下における地域間競争、地域間財政力格差
教 授	大川 良文	国際経済論	貿易政策が経済・社会厚生に与える影響に関する理論研究
教 授	栗田 高光	国際金融論	為替レートに関する計量モデル分析
教 授	齊藤 健太郎	西洋経済史	イギリス労使関係史、労働市場の比較史的分析
教 授	玉木 俊明	西洋経済史	16-18世紀の北ヨーロッパ貿易史
教 授	大坂 仁	開発経済学	アジアの経済成長
教 授	(注) 岑 智偉	中国経済論	中国の経済成長と経済循環についての理論・実証分析
教 授	藤井 秀昭	エネルギー資源論	エネルギー経済と持続可能な発展に関する研究

(注) 2025 年度の研究指導の募集は行いません。

■ 京都文化科学研究科 京都文化学専攻

職 階	教 員 名	領域科目名	研究テーマ
教 授	小 林 一 彦	日本文学	日本古典文学（和歌文学・中世文学）の研究
准教授	雲 岡 梓	日本文学	日本の古典文学（近世文学）の研究
教 授	吉 野 秋 二	日本史学	日本古代都市（平安京）の研究、出土文字資料の研究
教 授	若 松 正 志	日本史学	近世の京都に関する研究、日本近世対外関係史研究
教 授	(注) 灘 本 昌 久	日本史学	日本近現代史、同和問題の歴史的研究
准教授	笹 部 昌 利	日本史学	幕末維新政治史の研究、日本近世・近代地域史の研究
教 授	(注) 村 上 忠 喜	日本民俗学・ 文化財	祭礼文化を中心とした都市民俗研究／文化遺産研究
准教授	ペレッキア ディエゴ	伝統芸能	京都の伝統芸能に関する研究（演出、伝承、国際化などの諸相）
准教授	マ レ ス エマニュエル	庭園学	日本庭園の歴史的・比較研究／文化と自然の相互作用に関する研究

(注) 長期履修制度を申請することはできません。

2. 入学から修了までのスケジュール（参考）

■ 経済学研究科 経済学専攻

		授 業 内 容 等		
		講義科目	演習科目	
1 年 次	春 学 期	4月初旬	入学式、オリエンテーション、履修計画相談	
			経済学基礎科目（2単位）及び 特論A（2単位）×4科目 [内、1科目は研究指導教員が指定する特論A]	研究指導教員担当の特論演習Ⅰ（2単位）
		4月下旬 ～ 7月下旬	レポート×4回（5科目分）	特論演習Ⅰレポート×4回
		7月 ～ 8月	スクーリング 2日間	
	秋 学 期		経済学基礎科目（2単位）及び 特論B（2単位）×3科目 [内、1科目は研究指導教員が指定する特論B]	研究指導教員担当の特論演習Ⅱ（2単位）
		10月下旬 ～ 1月下旬	レポート×4回（4科目分）	特論演習Ⅱレポート×4回
1月 ～ 2月			スクーリング 2日間	
2 年 次	春 学 期		特論A（2単位）×1科目	研究指導教員担当の特論演習Ⅲ（2単位）
		4月下旬 ～ 7月下旬	レポート×4回（1科目分）	特論演習Ⅲレポート×4回
		7月 ～ 8月		スクーリング2日間 (研究成果中間報告会)
	秋 学 期		特論B（2単位）×1科目	研究指導教員担当の特論演習Ⅳ（2単位）
		10月下旬 ～ 1月下旬	レポート×4回（1科目分）	
		1月中旬		学位申請
		2月初旬		特定課題研究報告書または修士論文 審査会・口述試問
		3月下旬	学位授与式 【修士（経済学）学位授与】	

■ 京都文化科学研究科 京都文化化学専攻

		授 業 内 容 等		
		研究基礎論、特殊講義	特論演習 (研究指導を含む)	
1 年 次	春 学 期	4月初旬	入学式、オリエンテーション、履修計画相談、履修登録	
			「京都文化科学研究基礎論A(またはB)」 「特殊講義A」×3科目 (うち1科目は、研究指導教員担当の「特殊講義A」)	研究指導教員担当の「京都文化特論演習Ⅰ」
		5月上旬 ～ 8月上旬	「京都文化科学研究基礎論A(またはB)」 レポート(4回) 「特殊講義A」レポート(3回)	「京都文化特論演習Ⅰ」レポート(3回)
		8月		「京都文化特論演習Ⅰ」スクーリング2日間
			成績表配付・履修登録	
	秋 学 期	10月初旬	「京都文化科学研究基礎論B(またはA)」 「特殊講義B」×3科目 (うち1科目は、研究指導教員担当の「特殊講義B」)	研究指導教員担当の「京都文化特論演習Ⅱ」
		10月下旬 ～ 1月下旬	「京都文化科学研究基礎論B(またはA)」 レポート(4回) 「特殊講義B」レポート(3回)	「京都文化特論演習Ⅱ」レポート(3回)
		2月		「京都文化特論演習Ⅱ」スクーリング2日間
			成績表配付・履修登録	
2 年 次	春 学 期	4月初旬	「特殊講義A」×2科目	研究指導教員担当の「京都文化特論演習Ⅲ」
		5月上旬 ～ 8月上旬	「特殊講義A」レポート(3回)	「京都文化特論演習Ⅲ」レポート(3回)
		8月		「京都文化特論演習Ⅲ」スクーリング2日間
			成績表配付・履修登録	
	秋 学 期	10月初旬	「特殊講義B」×1科目	研究指導教員担当の「京都文化特論演習Ⅳ」
		10月下旬 ～ 1月下旬	「特殊講義B」レポート(3回)	「京都文化特論演習Ⅳ」レポート(3回)
		10月下旬 ～ 11月上旬		「京都文化特論演習Ⅳ」スクーリング2日間 (中間報告会、研究指導)
		1月下旬 ～ 2月上旬		「京都文化特論演習Ⅳ」スクーリング2日間 (公聴会、修士論文または特定課題研究報告書の 審査会、研究指導)
		3月下旬	学位授与式 【修士(京都文化化学) 学位授与】	

Ⅲ. 特色ある制度

1. 長期履修制度

(1) 制度概要

京都産業大学大学院では、次の方を対象とした長期履修制度を設けています。通常の2年で課程を修了するコース以外に3年又は4年（経済学研究科は3年のみ）の履修によって、仕事等と研究を両立し教育課程を修了することができます。

(2) 対象者

本大学院の在学生及び入学予定者のうち、次のいずれかに該当する者

- ・有職者であって、職務上の事情により標準修業年限で修了することが困難な者
- ・育児、介護等により、標準修業年限で修了することが困難な者

(3) 修業年限

修士課程 年単位で3年又は4年（経済学研究科は3年のみ）

ただし、最長修業（在学）年数は3年コース、4年コースともに4年

(4) 学費

標準修業年限（2年）の学費の総額を該当修業年数に応じて分割分納します。

(5) その他

その他詳細については、合格者に送付する案内等でお知らせします。

2. 教育研究支援制度

(1) 学会発表のための旅費等支援制度

この制度は、学会への発表の機会を増し、発表を通じて大学院生の専門的知識の向上を図ることを目的としています。国内学会発表のために要した旅費・宿泊費等を支援する制度です。

(2) 論文投稿掲載費の支援制度

この制度は、専門雑誌への論文単独投稿掲載に係る費用を支援します。

(3) 海外学会発表のための支援制度

この制度は、海外で開催される学会において研究発表を行うために要した費用を支援します。

IV. 日本学生支援機構奨学金

1. 新規出願方法

出願に関するご案内については、大学院入学後の4月以降に電子掲示板にてお知らせします。

2. 特に優れた業績による奨学金返還免除制度

大学院進学後に第一種奨学金の貸与を受け、貸与期間中に特に優れた業績を挙げたと認められる場合には、貸与期間終了時においてその奨学金の全額又は半額の返還が免除される制度です。本制度への申請は第一種奨学金の貸与が終了する年度となりますので、その際に改めてご案内します。

3. 特に優れた業績による奨学金返還免除内定候補者制度（以下、「本制度」という）について

上記2の制度は第一種奨学金の貸与終了年度に申請するものですが、本制度は大学院（博士前期課程・修士課程）入学前に申請を行い、選考の上、内定候補者を決定するものです。

(1) 目的：優秀な低所得世帯の大学学部生等に対して、修士課程等での修学に係る経済的不安を早期に解消し、進学へのインセンティブを高めることを目的としています。

(2) 推薦枠：上記2の制度とは別に推薦枠が設けられます。また年度によって各大学院に配分される枠は異なります。

(3) 対象：以下のいずれも満たす必要があります。

①大学学部等において高等教育修学支援制度を受給していること又は住民税非課税世帯であること。

②科学技術イノベーション創出に寄与する分野（情報・AI、量子、マテリアル等）又は大学の強みや地域の強み等を生かした分野への進学を希望していること。

③将来、上記②の分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を備えて活動することができると認められること。

(4) 選考：上記の対象要件を満たしていることを進学予定先の大学院で確認した上で、大学院入試の成績やこれに代わる大学学部の成績等を基に、文部科学省令で定める各業績について十分な成果を挙げる見込みがある者として総合的に評価して選考を行います。

(5) 申請方法：事前申請として、学生支援センターまでメールにてご連絡ください（メールアドレスは下記参照）。

事前申請期限…2024年12月20日（金）

※件名は「奨学金返還免除内定制度申請希望」とし、本文に①氏名、②現住所、③連絡先（本人携帯電話番号）、④現時点で在学している大学・学部名を明記してください。

※本学大学院入試受験前でも申請が可能です。ただし、推薦者となった後に本学へ入学しない場合等は辞退の連絡が必要です。

※事前申請後は、書類の提出がございました。詳細はメール受付後にご案内します。

- (6) 注意事項 : ①本制度を利用するためには、大学院入学後に第一種奨学金の出願をする必要があります。本制度の申請要件と第一種奨学金の選考基準は異なることから、推薦者として決定された方であっても第一種奨学生に採用されるとは限りません。第一種奨学生に不採用となった場合は、内定者の効力も失いますのでご注意ください。
- ②内定者に決定した場合も、貸与終了年度に改めて返還免除の申請が必要です。
- ③結果について、学内の選考結果は 2025 年 4 月中旬頃、日本学生支援機構での選考結果は 2025 年 7 月下旬頃に通知します。
- ④当該年度に本学に配分される推薦枠が無かった場合、本制度の利用はできません。

日本学生支援機構奨学金に関するお問い合わせ

学生支援センター（学生生活支援担当）

(075) 705-1433

取扱時間 平日 9:00～16:30

(13:00～14:00 除く)

メールアドレス gakusei-bu-kei@star.kyoto-su.ac.jp

<MEMO>

<MEMO>

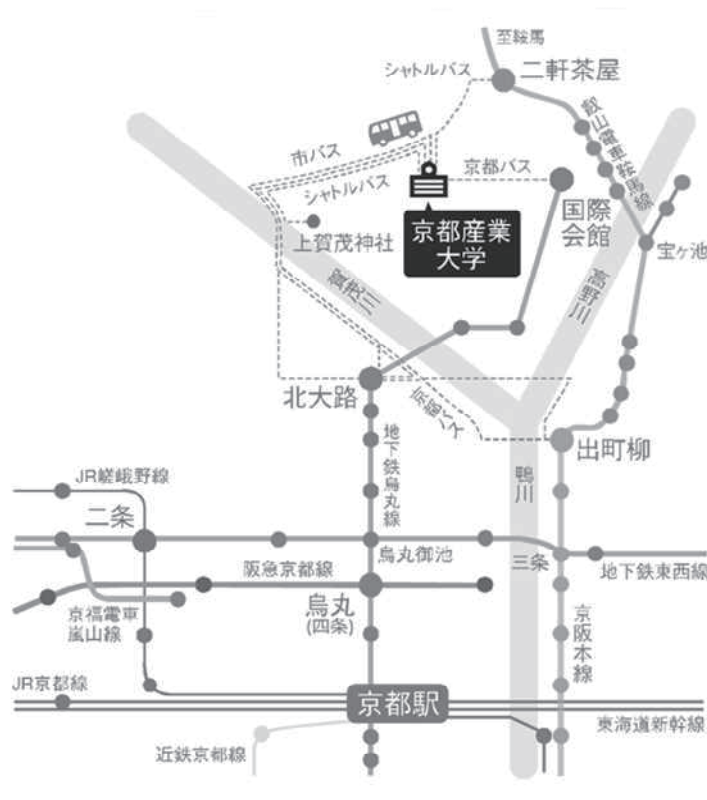
本学への主な交通機関

● JR 京都駅・阪急烏丸（四条）駅から地下鉄で

- ① 「国際会館駅」下車、京都バスで約9分「京都産業大学前」下車
- ② 「北大路駅」下車、市バス・京都バスで約15分「京都産業大前」下車

● 京阪電車「出町柳駅」から

- ① 京都バスで直行約18分（普通約21分）「京都産業大学前」下車
- ② 叡山電車（鞍馬線）で「二軒茶屋駅」下車、無料シャトルバスで約5分



京都産業大学大学院

KYOTO SANGYO UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL

教学センター（大学院担当） 〒603 - 8555 京都市北区上賀茂本山

TEL:075-705-1913

研究科に関するお問い合わせ

経済学研究科 (075) 705-1452

京都文化科学研究科 (075) 705-1941